

令和２年度 第２回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

令和２年８月２０日（木）

１３：３０～１４：３０

大垣市役所８階 大会議室

出席者：２２名 欠席者：５名

１ 健康福祉部長あいさつ

２ 大垣市障がい者総合支援プランの骨子案について（事務局より説明）

→別紙資料１～４による

- ・策定方針、国の動向、国の基本的な指針の見直しの主なポイント、国の「基本指針」における成果目標の設定と市の現況の説明、アンケート調査結果の概要、第四次障害者計画の施策体系について説明

【質疑】

- ・令和２年度を期限とする進行中の計画についての統括はどのように行い、どのように反映されていくのか。  
→ ６月に実施した当協議会において、令和元年度事業実績報告を行った。未達成のところは、市内に事業所がない、地域移行が困難などの理由であった。振り返りや地域の実情を考慮しながら、新しい目標の設定を進めているところ。
- ・医療的ケア児には医療従事者や福祉職員が関わっている。一相談支援事業所が担当者会議を開催しようとしても、なかなか招集できない現状がある。医療的ケア児等コーディネーターが集約するなどの体制づくりができると良い。
- ・第三次障害者計画では「ニーズに応じた障がい児支援の拡充」が「ニーズに応じた障がい児支援と教育の拡充」となっている。「教育の」が加わった。医療的ケア児も含めて子どもの生活の場面はほとんどが教育の場面である。どのようなことが考えられるか。  
→ 保育園や学校ではそれぞれの計画がある。関係機関との整合性を考えて新しい目標設定をしていきたい。
- ・資料４「２ 社会参加の促進③あらゆる社会参加活動への支援」とあるが、あらゆるとは抽象的ではないか。どういうところが位置付けられているのか。  
→ 教育、就労、生活、文化・芸術活動、スポーツ活動のなかへの参加を想定している。

- ・資料4「3 安心できるまちづくりの推進④災害等の緊急時における安全・安心の確立」に新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容としてはどうか。  
→ 感染症を含めて検討していく。
- ・資料4「3 安心できるまちづくりの推進⑤共に支え合う地域共生社会の推進」が新たに加わった。どういうことを実践していくのか。  
→ 障がい者の方が自分らしく暮らせることを自己決定の尊重を踏まえて、専門機関が包括的に支援し、地域共生を実現していく。
- ・資料1「2 国の動向②障害者施策の意思決定過程における障害者の参画、障害者本人による意思決定の支援」とあるが、障がい者のなかには、意志を伝えられない方がいる。市として、どのような施策、支援を考えているのか。  
→ 本人の気持ちに寄り添い、本人を尊重しながら、相談支援専門員や事業所職員らで代弁し、意思決定を支えていく。